

Vol.
03

Knowledge NEWS

ナレッジ・ニュース

Jan

2024

NEWS RELEASE



学校法人関西学院と三井情報、高いセキュリティと 利便性を兼ね備えた情報基盤を構築

2023年9月21日



学校法人関西学院は、Okta、Box、Slack、Zoomの4つのクラウドサービスによる高いセキュリティと利便性を兼ね備えた情報基盤を全学に導入し、2024年3月より、学生・教職員への提供を開始します。大学におけるOktaの導入は国内で初となります。



統計数理研究所と三井情報、ブラックボックス最適化の 停止基準に関する共同研究を開始

2023年10月16日



統計数理研究所と三井情報は、ブラックボックス最適化の停止基準アルゴリズムを産業応用するための共同研究を開始しました。停止基準をマテリアルズ・インフォマティクス向けソリューションに組み込み、より効率的な物質探索を目指して実証研究を行います。



「MEDACA」シリーズにソフトウェアの 定着化ソリューション「Pendo」を追加

2023年10月26日



「MEDACA」シリーズに、デジタルアダプションプラットフォーム「Pendo」を追加し、2023年11月より提供開始しました。「Pendo」を通じて、ソフトウェアの定着化、及び品質向上を図り、ユーザーエクスペリエンスを向上することで、企業のDX推進を支援します。



トピックス

2023年9月11日

「データブリックス」の認定パートナー プログラムに参画



生成AIを中心としたデータ活用
に最適化されたレイクハウスプラ
ットフォームを提供する
Databricks Inc.の認定
パートナープログラム
に参画しました。



トピックス

2023年10月13日

「サステナビリティ基本方針」および 関連方針の制定・改訂について



「サステナビリティ基本方針」に基
づき、人権方針およびDE&I方針を
新たに制定するとともに、
環境方針の見直しを行い
ました。



トピックス

2023年10月17日

「物流DX 2023 出展レポート」公開



2023年10月に開催された「物流DX
2023」にてブース出展、セミナー講
演をしました。当日の
概況、物流におけるデ
ジタルデータ活用につ
いてレポートします。



トピックス

2023年11月2日

日経NETWORK (11月号) に記事が掲載 「実験で解消!ネットワークの素朴な疑問」



第8回は、衝撃に弱いイメージの「光
ケーブル」について、どの程度の衝
撃までであれば通信に
影響が出ないか?の実
験を行い、結果も紹介
しています。



Column

おすすめコラム

Vol.03 January 2024

紙なくしてみた

ある日のこと

ある日、社内のITシステム戦略立案を行っている部門長より、社内に約600ある申請書をシステム統一してほしいというプロジェクトの依頼がありました。社内には多数の申請書があり、申請方法が様々でした。紙で申請するもの、メールにExcelの申請書を添付して申請するもの、Webシステムから申請するものなどがあり、申請者がどこから申請すればいいのかがわかりにくいという問題がありました。

ペーパーレスプロジェクトという名前ではありますが、文字通り紙を無くすだけではありません。様々な申請方法がある申請書を、全てシステム統一してユーザの利便性を向上し、モチベーションアップ・生産性向上・業務品質向上を目指すというのがこのプロジェクトのゴールです。やりたいことはシンプルですが、その先には様々な苦勞が待ち構えていました…。

プロジェクトやってみた

●開発費用を抑えてみた

申請書ごとに画面とワークフローを作ると膨大な時間と費用がかかります。そこで、共通の申請画面とExcelで個別項目を添付する方法を考案しました。ワークフローは箱として用意し、自動で承認者を設定する仕組みも導入し、これを"汎用申請"としました。しかし、汎用申請ではExcelにデータを格納するため、分析が困難という問題点がありました。そのため、申請データを集計や分析に使う場合は個別の申請画面を作ることに決めました。

●ワークフローを多機能にしてみた

共通ワークフローは全ての申請画面で使用するため、よく使われる"差戻し"や"取下げ"のほか、申請者の利便性向上のため過去の申請を再利用できる"コピー申請"にも対応しました。承認ルートは申請書ごとに事前定義しますが、ワークフローの途中で承認者の追加や変更ができるようにしています。

●申請書の仕訳をしてみた

個々の申請書は大きく分けて"汎用申請"か"個別の画面開発"のいずれかで開発することとなります。これを機械的に振り分けようと思ったのですが、似たような名前の申請書があったり、今は使われてなさそうな申請書の名前があったりするため、1件ずつ目視で判断することにしました。地道な仕事で大変でしたが、結果的には精度の高い振り分けを行うことができました。

●いろんな人とコミュニケーションとってみた

社内のプロジェクトということもあり、人事部・総務部・経理部など、全部で15部署の担当者と直接調整しながらシステム化を進めてきました。普段あまり関わることのない大勢のメンバーとコミュニケーションをとりながらプロジェクトを進める必要があったということが想像以上に大変でしたが、社内の各部署の業務を知ることができたのは良い経験となりました。



最後に

このプロジェクトは2023年4月に完遂となりました。成功の秘訣は次の通りと感じています。

- ① 方法論ではなくビジョンを重視する
- ② プロトタイプで完成イメージについてユーザと早期に合意形成する
- ③ 社内の関係部署と密な関係を築く＝ONE TEAM

社内の対象の申請書をシステム化したいという要望などありましたらお力になれると思いますのでお気軽にお問い合わせください！

本コラムの詳細はこちら

